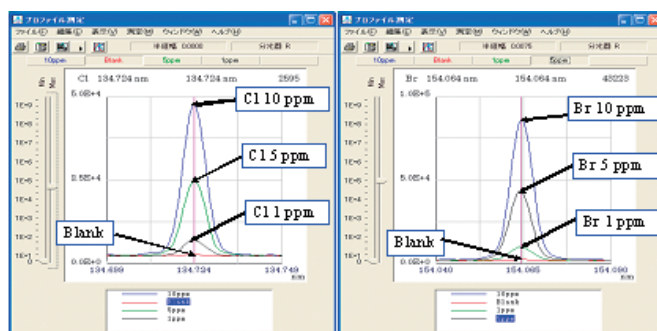


ICP発光分光分析装置の紹介

京都府中小企業技術センターでは、中小企業が持つ「強み」を活かして力強く活動できるよう、技術開発等に関する支援を行うため、高度な試験・研究用機器を設置し、依頼試験や機器貸付を行っています。平成20年10月には、財団法人JKAから競輪の補助金を受け、ICP発光分光分析装置を更新しました。今後、企業の皆様にご活用いただき、製品開発や品質管理にお役立ていただきますようご案内します。



【こんな分析ができます】

〈鉄鋼試料の構成元素の分析〉

使用する鉄鋼材料の破断等のトラブルが発生し、合金成分量に原因があると考えられる場合。

→ 試料を酸で溶解し、構成金属の含有量を調べることで成分量の確認が可能です。

〈プラスチック中の有害元素の分析〉

家電製品等に使用されているプラスチック部品中に安定剤等として添加されていることがある鉛、カドミウムの含有量を調べる場合。

→ 試料を酸で分解し、分解液中の有害元素を測定することにより樹脂中の含有量が調べられます。

〈鉛フリーはんだ中の有害元素の分析〉

欧州の化学物質規制(RoHS規制等)に対応するため、鉛フリーはんだ中の有害元素(Pb、Cd、Cr等)の量を測定する場合。

→ 酸ではんだを溶解し、分解液中の濃度を測定することにより含有量が調べられます。

〈めっき液中の塩素の分析〉

基板配線の信頼性上重要となる回路基板用銅めっき液中の塩素の管理を行う場合。

→ 真空紫外域での塩素の発光線を測定することにより、精度よく濃度を測定できます。

機 器 名	ICP発光分光分析装置(SPS3100HV UV)
メーカー名	エスアイアイ・ナノテクノロジー 株式会社
仕 様	シーケンシャル型(2チャンネルタイプ)
検出下限値	10ppb以下(鉛)
波 長 範 囲	130 ~ 770nm 塩素(134.724nm)からカリウム(766.491nm)までの元素が測定可能
用 途	溶液中元素の定性・定量
利 用 料 金	測定内容により料金が異なります。(溶液の種類によっては、測定できない場合があります。) ・ 依頼試験：定性 1件 16,000円 定量 1成分 2,500円

※具体的な申し込み手順については、<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/tec/tes> をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 化学・環境担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp